

2023年7月吉日

運輸総合研究所 研究報告会 2023年度夏（第53回）ご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

運輸総合研究所におきましては、「研究報告会 2023年度夏（第53回）」をオンライン配信および会場参加にて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。

ご参加にあたりましては、大変恐縮ですが、申込み専用URLからお申込み頂きますようお願い申し上げます。 敬具

記

日 時：2023年7月24日（月） 13:30～16:50（開場13:10～）

会 場：オンライン配信（Zoomウェビナー）及び運輸総合研究所2階会議室

費 用：無料

プログラム：研究員からのそれぞれの発表にコメンテーターを設け、報告の概要と意義についての解説や討議、参加者からの質疑応答を行うことにより議論の深度化を図ることとしております。（詳細別紙参照）

お申込み：下記のURLよりお申し込みください。

<https://krs.bz/jterc/m/sympo53>

申込期限：2023年7月21日（金）18:00まで

※会場が定員に達し次第、来場申込については締め切りますのでご了承ください。

※オンライン参加については、開催直前まで受け付けております。



※お申し込み頂いた方には、**視聴用URL**をご送信いたします。

未着の方は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

お問い合わせ：一般財団法人運輸総合研究所（担当：室井、菅井）
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD神谷町ビル）
TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8401
E-mail：collo@jttri.or.jp HP：<https://www.jttri.or.jp>

- 日 時：2023年7月24日（月）13:30～16:50
- 会 場：オンライン配信（Zoomウェビナー）及び運輸総合研究所2階会議室
- 費 用：無料
- 通 訳：（2）の報告は同時通訳（日英）を行います。
- その他：撮影・録音は禁止させていただきます。

<プログラム>

開会挨拶 宿利 正史 運輸総合研究所会長 13:30-13:40

報 告

(1) 「ドローン配送の利用意向と効果」 13:40-15:05

報告概要 屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長

発 表 安部 遼祐 客員研究員、
横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授

コメンテーター 中村 裕子 一般財団法人総合研究奨励会
日本無人機運行管理コンソーシアム（JUTM）事務局次長

討論・質疑応答

（発表概要）

我が国では、地域課題解決を目指したドローン配送の取組が多数実施されている。本研究は、地域におけるドローン配送の導入効果について分析を行う。特に、本報告では、離島の住民を対象に行った調査を踏まえ、ドローン配送の利用意向に影響を及ぼす要因、料金設定、受取の距離設定、利用意向に影響を及ぼすサービス・個人属性などについて分析した結果を示すことで、ドローン配送の計画のための知見をまとめる。

休 憩 15:05-15:15

(2) 「アジアのオートバイ都市の変質？」

台湾・台北メトロが交通行動と都市形態に及ぼす影響の評価」 15:15-16:40

報告概要 屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長

発 表 邱 秉瑜 研究員

コメンテーター 兵藤 哲朗 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科長

討論・質疑応答

（発表概要）

日本は東南・南アジア諸国に対し、交通計画の面から援助を行ってきた。これらの国の多くは自動二輪車の保有率が世界トップで、主要都市ではメトロ等の大量高速輸送システムの建設が進んでいる。本研究は、世界で最も早くメトロを導入したオートバイへの依存度の高い都市の一つである台湾の台北における建造環境とバイク交通行動の関係、またバイク交通行動と都市形態に対するメトロの影響を調査する。研究結果はバイクが普及する都市での交通政策と日本の援助政策の両方に役立つ。

閉会挨拶 屋井 鉄雄 運輸総合研究所所長 16:40-16:50
(討論・質疑応答) モデレーター 屋井 鉄雄 運輸総合研究所

～ 登壇者・講演者・コメンテーター プロフィール ～

開会挨拶 宿利 正史

一般財団法人運輸総合研究所会長

1974年東京大学法学部卒、運輸省(現:国土交通省)に入省。航空局審議官・管理部長・次長、大臣官房総括審議官、自動車交通局長、総合政策局長、大臣官房長、国土交通審議官、事務次官を歴任。2013年8月から東京大学公共政策大学院客員教授(交通政策)、2014年4月から一般社団法人国際高速鉄道協会(IHRA)理事長、2021年6月から公益財団法人日本海事センター会長を務める。2018年6月より現職。



報告概要、モデレーター、閉会挨拶 屋井 鉄雄

一般財団法人運輸総合研究所所長

1985年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻博士課程修了。東京工業大学工学部土木工学科助教授、教授、マサチューセッツ工科大学客員准教授、東京工業大学大学院総合理工学研究科教授、研究科長、同大学環境・社会理工学院教授、副学長を経て、2023年4月から同大学特命教授・名誉教授、2023年5月から東京医科歯科大学特任教授。交通政策審議会委員、社会資本整備審議会臨時委員、アジア交通学会会長を歴任。学位:工学博士。専門分野:国土・都市計画環境交通工学。2023年6月より現職。



報告① 安部 遼祐

客員研究員

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院准教授

2016年10月～2017年7月 東京大学大学院工学系研究科 特任研究員、2017年8月～2021年7月一般財団法人運輸総合研究所 研究員、2021年8月～2022年3月 国土交通省国土交通政策研究所 研究官、2022年4月～横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 准教授。研究内容は、交通計画、交通政策、土木計画学。特に、都市・地域の交通に関する研究。地域の交通や物流サービスにおける自動化・新技術活用、我が国や新興国における都市鉄道・TODに関する研究など。



報告①コメンテーター 中村 裕子

一般財団法人総合研究奨励会

日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM)事務局次長

2003年東京大学(以下東大)工学部システム創成学科卒(第一期生)。フランスEcole Centrale Paris特別修士コース、東大大学院工学系研究科修士課程修了の後、06年より自動車会社勤務。09年からは東大総括プロジェクト機構航空イノベーション総括寄附講座(特任研究員)。13年工学博士取得、17年より同大特任准教授。23年からは一般財団法人総合研究奨励会。国内のドローン・空飛ぶクルマ環境整備に立ち上げ期から携わり、21年にはドローン・空飛ぶクルマ分野によける自治体ネットワークを発足。22年、鈴木真二東京大学名誉教授とともに東大出版「ドローン活用入門:レベル4時代の社会実装ハンドブック」を編集。



報告② 邱 秉瑜

研究員

1986年台北生まれ。国立台湾大学商学部卒業後、英国ロンドン大学UCL大学院にて修士号(空間計画)を取得。台湾でコンサルティング会社、国会アシスタント、地方政府での職務にあたり、また日本の公益財団法人地球環境戦略研究機関の実習を経て、台湾と国際都市の比較をテーマに執筆活動に従事する。2022年東京大学大学院工学系研究科特別研究生。2023年米国ペンシルバニア大学にて博士号(都市・地域計画)を取得後、来日して現職に就任。



報告②コメンテーター 兵藤 哲朗

東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科長

1984年東京工業大学土木工学科卒、1989年東京工業大学博士課程修了(工学博士)。東京理科大学助手、東京工業大学助手、東京商船大学助教授を経て、2007年4月東京海洋大学教授。専門は交通計画、交通調査、物流計画。交通工学研究会・論文賞、SHARP2・Best Overall Presentation、TRB・Urban Freight Transportation Committee's Best Paper Awardなど。主な社会活動は、国土交通省・社会資本整備審議会・道路分科会・基本政策部会委員、総合物流施策大綱に関する有識者検討会委員など。

